

## 平成22年度 福祉・障害児教育研究所事業報告

菊池 信子

KIKUCHI Nobuko

平成22年度の福祉・障害児教育研究所の主な活動は以下のとおりである。

## I 平成22年度の福祉・障害児教育研究所シンポジウム

1 平成22年度シンポジウムは、平成22年7月10日（土）に本学421教室において開催された。

時 間：13時30分～15時10分

テーマ シンポジウム「みんなで考えてみませんか？  
地域のことを!!」

講 演 「神戸市の地域福祉について」

講演者 梶本日出夫氏（こうべ市民福祉振興協会  
副会長、前神戸市副市長）

開会挨拶 山添 正 学長

講演進行 寺本迪彦 教授

閉会挨拶 坂東啓一郎 神戸市北区長、神戸市北区  
社会福祉協議会常務理事

参加聴衆者：地域住民等学外参加者約 23人

本学学生教職員 126人

内訳（男女別 男10人、女139人）

本シンポジウムは、神戸市北区社会福祉協議会と共催で開催され、後援として、神戸市、神戸市北区役所、神戸市社会福祉協議会、神戸市北区民生委員児童委員協議会、北区南部地区社会福祉協議会、こうべ市民福祉振興協会、神戸市障害者スポーツ協会からの協力が得られた。その結果、神戸の地域福祉に関心ある地域住民の参加が得られた。

震災から15年を経て、その教訓を活かし、少子高齢化の現代社会において、神戸市の行政と地域福祉活動の経緯について、具体的な映像をまじえた講演をいただいた。今後の方向性として、公私がともに支えあうまちづくりの必要性と実現に向けて、自助・共助・公助をキーワードとして、担い手としての大学への活動に期待を込め、講演が締めくくられた。

2 平成22年度講演会は、平成22年12月7日（火）に本学311教室において開催された。

時 間：9時00分～10時30分

演 題 「福祉とスポーツ」

講演者 増田和茂 氏（兵庫県総合リハビリテーションセンター体育指導課、障害者 スポーツ交流館所長）

講演者紹介 寺本迪彦 教授

進 行 今西 平 助教

参加聴衆者：本学学生教職員 約130名

本講演会は、「福祉とスポーツ」について、福祉臨床学科のみならず、ジュニアスポーツ教育学科から多数の学生、教員の参加を得ることができた。スポーツが社会活動として障害者と密接に関わっていること、また障害者スポーツの専門性の高さ、支援体制づくりの理解が必要であることなど、迫力ある映像とともに語られ、多くの示唆をいただいた。

## まとめ

平成22年度の福祉・障害児教育研究所の主な活動は、以上のとおり、地域との関わりを大切に、地域性、継続性、実践への動機づけを高め、研究所としても、順調に実績を伸ばしている。